

過酷な冬季に事業が本格化する北海道の広大な林野で安心安全な作業を支えるSoko-co Forest

南富良野木材産業株式会社 様

北海道士別の広大な作業エリア



無線機とスマートホンを携帯して作業



タブレットで現場情報を元に打ち合わせが簡単に

北海道の広大な国有林・民有林の森林整備などを請負い、その過程で産出される木材で素材生産を実施。森林整備では主に樹木の生育・育成を促すための間伐を行い、森林、そして山全体を健康に維持するためのとても大切な作業を継続して行っています。更に樹木を切って枝を払い、適切な長さに切って丸太を作る素材生産（素材＝丸太 生産＝立木を切って丸太をつくる）を行う事でSDGsにも貢献しています。

南富良野木材産業株式会社様では現場作業員がSoko-co Forestアプリをインストールしたスマホを全員で携帯。さらに現場を作業責任者はタブレットを携帯し、JVCケンウッドの専用トランシーバーを介して、携帯電話の圏外でもスマホやタブレットといった端末同士で位置情報や地点情報、路網作設の踏査データの共有などを実現している。

導入の背景

過酷な冬季に事業が本格化する北海道に於いて、その環境下では施業中の些細な事故でも命取りとなる場合がある。いち早く作業員の異常を察知し、確認、救助対応が出来る仕組みを模索していた。しかし、施業現場は携帯電話が届かない場所が多く、そのような場所で利用できる有効な仕組みはなかなか見つからなかった。

活用シーン

作業員全員がケンウッドの無線機とアプリをインストールしたスマホを携帯し
作業中の位置情報と作業領域の安全確認を責任者が共有



現場でお互いの現在地が確認でき、
動きが見えることで異状なく
作業しているのが判る。

施業道の設置作業も事前に探索した経路が
記録、共有でき、実際に現場で画面を見ながら
打ち合わせを行い作業に入れる。



伐採した木の集積場所は地点登録機能で
地図上で共有。樹種別に色分けをしているので
回収間違いを防げる。また、回収時に地点を
消すことで回収された情報も共有されるので
進捗状況が確認できる。

導入の効果と今後の計画など



- ・トランシーバーのモーションセンサーが自動的に異常事態を知らせてくれるので安心
- ・新しい作業道が記録できるので作業の進捗状況が一目でわかる
- ・作業員の位置がリアルタイムで判るのが良い
- ・重機の位置も判るので、作業道上で鉢合わせの事が無くなり作業効率が上がった
- ・林小班図表示が出来るので現場で具体的な施業場所の指示が出せるようになった
- ・集積場所が雪に埋もれても地点登録機能で迷う事が無くなった
- ・先端 ICT 機器を導入する事で若い担い手にも安心して働ける環境が提供できる

USER' S PROFILE



MITSUHASHI.CO.LTD

南富良野木材産業株式会社 様

<https://nanpu.mlcmitsuhashi.co.jp/>

北海道士別市の三津橋産業グループ会社で主に南富良野町、占冠村の国有林にて素材生産業務を行っています。樹木の生育・成長を促すための間伐作業を多く行っており、森の手入れを行う事で北海道の森林を守り育てます。

本件のお問い合わせは

株式会社 JVCケンウッド

無線システム事業部 国内無線システム営業部

〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町 3-12

MAA-Sokoc2511 2025 年 11 月作成